

●第6回 日本代協コンベンション●

消費者からみた代理店のあり方を考える



挨拶する岡部会長と参加者

11月14・15日の両日、『第6回日本代協コンベンション』消費者からみた代理店のあり方を考える』を東京・台場のグランドニッコー東京台場などを会場に開催しました。参加者は500名を超え

ました。また、コンベンションの一部は、YouTubeで事後放送されました。【1日目】式典・功労者表彰・代協会員懇談会・基調講演と懇親会が行われました。

式典では、災害による犠牲者・物故会員に黙祷を捧げた後、岡部繁樹会長が開会の挨拶に立ち、「今年はお客さまへのきめ細かな対応とそれを持続的に高める経営態勢の構築を求める改正保険業法が適用され、保険募集サイドにおいては歴史的な変革の年となった」と指摘し、そのポイントは、①保険会社依存の体質から脱却し、自立し、自ら責任を負う代理店をつくる、②経営管理、法令等遵守、内部監査を基軸として通常の企業としての体制を整えながら、代理

店として必要な募集管理、顧客サポート管理等の経営の基礎を構築する、③激しい競争に打ち勝つ成長戦略を考え、実行し、企業としての持続的発展を確保する、ことだと述べました。

顧客本位の業務運営の確立と定着

次に、金融庁監督局の岡田大保課長が来賓挨拶し、平成28事務年度の金融行政方針について触れ、保険会社に関しては、①改正保険業法への対応、②顧客本位の業務運営の確立と定着、を大きな優先事項としていると述べました。続いて、損保協会の堀政良専務理事が来賓挨拶し、「損保協会では5〜10年先を見据えた中期計画を進めており、27の重要施策に取

り組んでいる。代理店の皆さまと一緒に取り組むことでより成果に挙がるものがある。一つは地震保険の付帯率の向上、もう一つはトータルプランナーの魅力度・認知度の向上である」と述べました。功労者表彰では、師岡邦雄（南関東ブロック・神奈川県代協）、小西泰弘（東海ブロック・岐阜県代協）、中田博（北陸ブロック・富山県代協）、森田雄（近畿ブロック・滋賀県代協）、田中研一（阪神ブロック・大阪代協）、穴田一善（西中国ブロック・広島県代協）、丸山満秋（四国ブロック・徳島県代協）、橋本安彦（九州北ブロック・福岡県代協）、村上暢敏（九州南ブロック・熊本県代協）の9氏が表彰されました。

代協会員懇談会では、①日本代

「森の賢者 ふうた」



日本代協 新キャラクター

協からの情報伝達と会員からの意見吸い上げ、②代協会員実態調査の回収率の低さの原因と今後の対策、③保険業法改正に対する代協の姿勢、④参考純率データの検証と開示、⑤保険引受規制のモニタリング、⑥弁護士介入による交通事故保険金査定額、⑦防犯カメラの映像開示、⑧代理店継承に関する後継者セミナー、⑨代協のCSR活動などについて質問があり、役員・事務局が回答しました。続いて、広報委員会から新たに誕生した日本代協イメージキャラクター「森の賢者 ふうた」（右記）がお披露目されました。「ふうた」の性別はオス、性格は正義感が強く勉強熱心、周りに困っている人を見るとほととけない。使命は「消費者のみなさんに保険の

大切さを知ってもらうこと」と「代理店のみなさんのさらなる資質向上に努めること」。好きな言葉は「安全・安心」。

サービスは皆が幸せになるための潤滑油

基調講演では、体に障害がある人や高齢者に特化したバリアフリー専門旅行会社を創業した高萩徳宗氏（有ベルテンポ・トラベル・アンドコンサルタンツ代表取締役）が「旅する視点で見るサービスの本質」おまけや値引きはサ

ビスじゃない」と題して講演しました。高萩氏は、「ベルテンポは、旅を諦めている人の夢を叶える旅行会社である。私たちはお客さまに寄り添って応援するサポートで、サービスは皆が幸せになるための潤滑油」と指摘されました。懇親会では、冒頭で岡部会長が挨拶した後、来賓を代表して損保協会の北沢利文会長、民進党の藤井裕久近現代史研究会座長、自民党の石原伸晃経済再生担当大臣が挨拶されました。次に賛助会員で

ある損保各社の代表者を舞台上で紹介し、山口史朗副会長の乾杯の発声で歓談に移りました。会場では、「熊本復興支援」と銘打って熊本県代協による地元の名産品・銘酒を紹介、試飲・試食も行われ、観光地などのPRも実施されました。また、募金活動も行い、出席者から集まった募金7万7376円を熊本地震義援金口に寄付しました。

【2日目】東京・神田淡路町の損保会館とホテルジュラク、ホテルマイステイズ、三井住友海上駿河台新館の4会場で分科会を開催しました。坂東ゼミでは、坂東俊矢氏（京都産業大学大学院法務研究科教授）が「お客さまのニーズに合った損害保険契約と代理店の役割」について講義しました。栗山ゼミでは、栗山泰史氏（丸紅セーフネット(株)常勤監査役）が「InsurTechの時代に、保険の原点を考える」と題して講

演しました。中崎ゼミでは、中崎章夫氏（有ナカザキ・アンド・カンパニー）が「市場激変と保険代理店の近未来―人のネットワーク“産業の活路・方向性”と当面の課題―」について講演しました。山中ゼミでは、山中伸枝氏（一般社団法人公的保険アドバイザー協会・理事）が「確実にお客さま満足度が高まる公的保険アプローチとは？売上げと満足度の向上を両立させる新たな切り口」について講演しました。



堀損保協会専務理事



北沢損保協会会長



岡田保険課長



坂東氏



講演する高萩氏



新キャラクター「ふうた」を紹介する小田島理事



栗山氏



山中氏



中崎氏